



tomorrow



HP「ハナモモの会」



ブログ
「花咲か作戦」



Instagram
「ハナモモの会」

今年はどうぐりの森「春まつり」同時開催！

第3回ハナモモまつり

4月5日(土) 10:00~14:00 (雨天翌日)



クイズラリー



文香ワークショップ

第1会場：カフェはなもも前広場（高森台 5-6-6）

第2会場：高齢者福祉施設どうぐりの森（高森台5-6-1）

注意！

当日は駐車場の大幅な不足が予想されます。なるべく乗り合わせてのご来場をお願いします。
雨天が予想される場合、前日の4日午後4時に翌日延期を決定し、ホームページ等で告知します。

今年も、当会の目指す桃源郷への過程を、多くの方に見ていただく企画「ハナモモまつり」を開催します。

第1回（4月8日）はほぼ咲き終わり、第2回（3月30日）は1分咲きとなかなか満開の時期と合わない中、満を持しての3回目。今年こそ三色の花が咲き乱れる最高の状態で来場者に喜んで頂きたいと願っています。

でもハナモモまつりはお花見以外にも楽しめる仕掛けがいっぱい。クイズラリー、「さくらいろプロジェクト」さんのキッチンカーやマルシェやステージ、ミニ動物園、ワークショップなど色々なアトラクションを用意しています。通常非公開の障がい者の安らぎと覚醒をうながす部屋「スヌーズレン」も必見です。

ステージ



マルシェ



スヌーズレン



ミニ動物園



今年もモンゴル孤児院に送る玩具や文具を募集します。清潔な状態でお持ち下さい。



出展者も来場者もみんなの心に残る楽しい一日を♪

- ★さくらいろプロジェクト（手作り品・花・野菜・菓子・カイロ等13店舗、キッチンカー3台、キッズダンスステージ2組）
- ★ホンダロジコム（さくらげ商品販売）
- ★よいこちんどん（ステージ）
- ★アングルコーヒー（コーヒー販売）
- ★Kねこ（手作り品販売）
- ★加藤善夫（木工細工の実演販売）
- ★高蔵寺まちづくり株式会社（缶バッジ製作）
- ★サンライク高蔵寺（小物等販売）
- ★養楽福祉会（スヌーズレン公開）
- ★クイズラリー
- ★フジバカマ文香づくりワークショップ

同時開催

どうぐりの森 春祭り 10:00~14:00 小雨決行

ハナモモまつりは雨天翌日です



ハナモモまつり第2会場で、どうぐりの森さんの「春祭り」の同時開催が決まりました。バザー、手作りショップ、軽食（きしめん、桜餅、緑茶）、ゲームコーナーなどのほか、「ながくてウィンドオーケストラ」さんによる吹奏楽ファミリーコンサートも（13:00～）。約35人編成、大迫力ながら親しみやすい曲目でまつりのクライマックスを盛り上げてくれます。



昨年演奏後の晴れやかなスナップ♪

「ハナモモの会」の歴史と通年作業の勉強会を実施

昨年5月の第11回通常総会時、「新しく入会した者にとっては、色々理解して作業に臨みたい。そのためにはこの会の歴史や毎回の作業内容の意味が知りたい」という要望が出ていたため、1月30日に勉強会を行いました。

まず会の歴史。前身である「高森台県有地の活用を提案する市民の会」が結成されるに至った経緯から現在までを「起」「承」「転」「結」に分けて説明しました。今回は欠席でしたが、結成当初からの会員

であるOさんからは当時を綴った手記が寄せられ、当時を知る人は感慨もひとしお。資料として出席者に配られました。

通年作業についてはハナモモの防菌防虫薬剤散布や施肥、地道な草刈り作業などを説明の後、質疑応答。ハナモモの下の方に延びている「ひこばえ」の枝は木の成長を妨げるので切った方がいいなどと論理的な意見も出て、次のお手入れ活動時には早速実施しました。予想以上に出席者も多く、ハナモモまつりへの提案も出されたりと有意義な時間になりました。



寄稿に代えて・・・記憶にとどめたい会結成、「起承転結」の「起」の時代

「高森台県有地の活用を提案する市民の会」の発起人の一人、故林明代さんの文章です。長い間「塩漬け」だった県有地に新しいテクノロジーも取り入れ、何とか市民の手で皆が利用できる場所にしたいという意気込みが強く伝わってきます。今は…かなりゆる〜いですね（笑）



「未利用の県有地に市民の手で風を！」 林明代 2013. 10

高森台に8万平米もの県有地が残っている。ここを活用できればと「高森台県有地の活用を提案する市民の会」が発足して一年。これまで国会議員・県議・市議との懇談をはじめ、地域住民や各分野のスペシャリストに意見を聴き活動の方法を探ってきた。問題は、想い、という見えないものを如何にして行政や住民に伝え、事業化に繋げるかということ。

今夏、「ひと・緑・風 明日につながる」と題した400分の1の模型を完成させた。県有地の現況をそのまま活かし、さらに市民から寄せられた声を整理して「高齢者福祉ゾーン」「子ども教育ゾーン」「健康スポーツゾーン」「文化交流ゾーン」「住居医療ゾーン」「市民広場ゾーン」に分けて製作。

中でも市民の目線と手で創り上げたい場所は「市民広場ゾーン」。高齢者から若者、障がいを持った人すべての人が関わり合って活き活きと暮らせる場所を目指す。農作物の生産・加工・販売、就労の場や集える場も欲しい。エネルギーの地産地消も考えたい。以前、新聞に汚泥を電気エネルギーに変えるプラントを紹介されていた。汚水処理場が出る汚泥を使えば、市の処理費削減につながるかもしれない。一石二鳥だ。

（中略）模型展示をまず見ていただき、県有地への想いを共有できたらと思う。行政を動かすには市民の大きな声とパワーが必要だ。持続可能なまちづくりを市民の知恵と力で何とかしたい。連携・協働が謳われる時代。中部大学にも地域連携の風が吹き始めている。新しい風よ吹け！

Topic

2月10日～2月24日

「見よう！聞こう！市民活動」(サンマルシェ会場)



市民活動支援センター（ささえ愛センター）が主催のパネル展は、従来市役所ロビーや東部市民センター通路で行われてきました。

今年初めてサンマルシェ南館3階の空きスペースで行ったところ立体駐車場からの動線のおかげで今までよりたくさんの方に興味深く見て頂けたようです。16日には和紙の折り紙にフジバカマの香りを忍ばせた文香のワークショップを行ったのですが、こちら

も好評でした。



第13期通常総会のお知らせ

5月24日（土）9:30
於：グルッポふじとう
会議室B

正会員の方はご出席をお願いします

